

宮川の渇水概要(6月22日時点)

渇水状況

- 5月の降雨は平年の約35%、6月においても平年の約35%と記録的な少雨。
- 農業用水の不足により、4月28日より、宮川ダムから7,500千m³を上限とするかんがい用水の補給を開始。
- 今後、このままの状況が続けば宮川ダムの不特定かんがい用水7,500千m³を使い切るため、6月30日まで、上記かんがい用水を使い切った場合、宮川ダムの発電用貯留水のうち、新たに2,600千m³を上限として融通。

かんがい用水地区内 ため池の状況

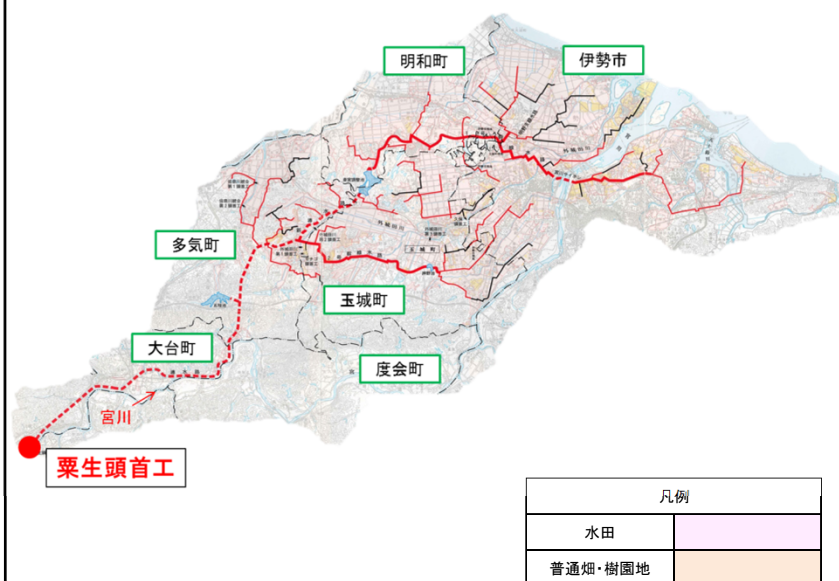


汁谷池 6月19日 貯水率:約30%

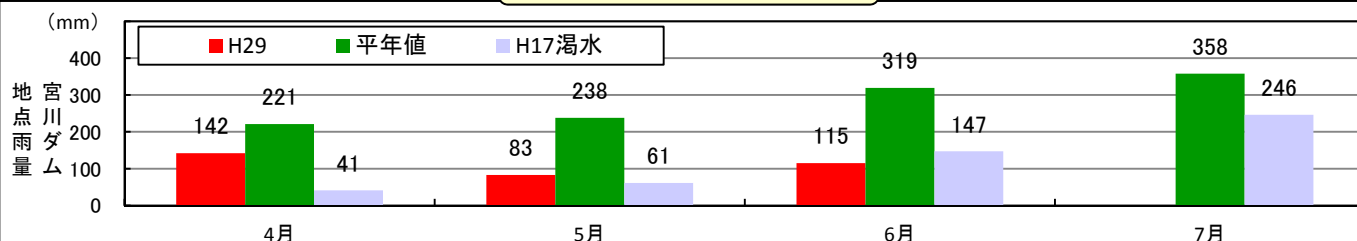


桧皮池 6月19日 貯水率:約35%

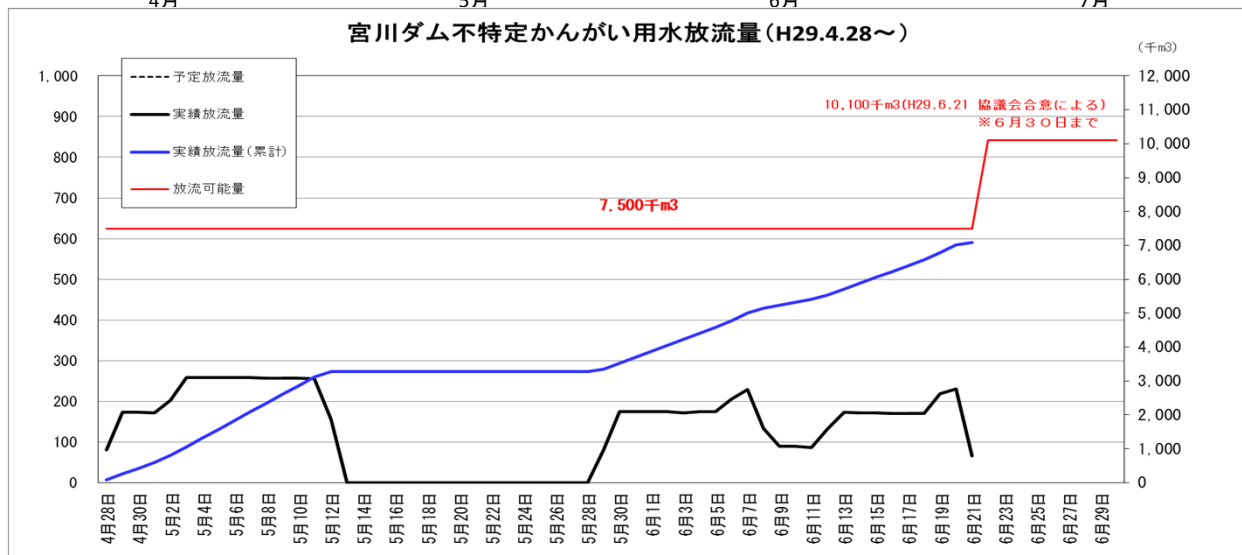
かんがい用水の受益地



降雨状況等



宮川ダム不特定かんがい用水放流量 (H29.4.28～)



宮川の渇水対応状況(6月22日時点)

これまでの対応状況

- ・ 3月より、宮川用水土地改良区が各路線地区委員会の場において本年の少雨状況を説明し、節水対策を指示。
 - ・ 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
 - ・ 6月21日に宮川渇水調整協議会を開催。
- 取水制限(上水:自主、農水:35%)等の措置を決定。

宮川用水 各路線地区委員会の様子



三重河川国道事務所渇水対策支部設置状況(H29.6.16)



河川巡視実施状況(H29.6.19)



平成29年度 第1回宮川渇水調整協議会(H29.6.21)



今後の対応予定

- ・ かんがい用水の需要量及びダムの補給可能残量を毎日把握する。
- ・ ダムの貯留水をかんがい用水のために再度融通する必要があるが生じた場合、利水者間での調整を行う。